

すももの郷通信Ⅱ

落合小
学校通信
No. 6
2023,6,19
発行 宮崎

一日学校開放日・道徳公開授業・教育を語る会が開催されました！

6月15日（木）一日学校開放日・道徳公開授業・教育を語る会が開催されました。保護者の皆様には、ご多用のところをご来校いただき、誠にありがとうございました。ご協力に感謝いたします。授業参観では、大勢の保護者のみなさんに子どもたちの様子をご覧いただきました。また、6校時に体育館で行われた教育を語る会「ほっと！ネットセミナー」では、県生涯学習課の先生方に、「今こそ考えよう、スマホやゲームの使い方」と題して、ご講演をいただきました。



新学期も半分が過ぎたところでの、子どもたちのそれぞれの成長を見ていただきました。子どもたちの成長は、日常の中にある積み重ねがその人を形作っていきます。ほんのわずかであっても少しずつでも確かな成長を遂げていくために、積み重ねるべきは自分をよくしていくこと、よくなっているという実感を、手応えを感じていくことです。自分を前向きに捉える子は、自ずと前向きになります。1学期の後半戦を前向きに一生懸命頑張れる子どもたちを育てていきたいと思えます。どの学年のどの子にも、よりよい自分を常につくることを意識させていきたいと思えます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

修学旅行！！ ～最高の仲間と共に～

6月7日から2泊3日の修学旅行にってきました。最高の仲間と共に6年生は、見聞を広め、豊かな体験を積み、一回り成長して帰ってきました。2泊3日の旅を天気に恵まれ、ケガなく、安全に、楽しく、力を合わせ、20名の6年生みんなで過ごすことができたことがまずもって喜ばしいことです。今年の6年生の修学旅行のテーマは、「力を合わせて一人一人が輝ける修学旅行にしよう～最高の仲間と共に～」でした。最高の仲間と共にテーマは達成できましたね。

校長先生は、「感謝」ということを6年生に伝えてきました。6年生の仲間たち、引率の教職員のみなさん、保護者のみなさん、旅行会社添乗員さん、バス運転手さん、ガイドさん、旅館ホテルのみなさん、見学先のみなさん、学校を守っていた教職員・子どもたちのみなさん等々、すべての関わってくださったみなさんに感謝しましょう。修学旅行に行くが当たり前、楽しいのが当たり前ではありません。みんなで創り上げてきた結果として、修学旅行があったのです。

修学旅行は小学校生活の最大のイベントであり、最高の思い出です。親元から離れて、自立への旅立ちの第一歩です。友だちの新たな一面を発見し、はじめての見聞から新たな刺激を受け、離れてみて親のありがたみを再確認したのではないのでしょうか。

6年生としての活躍は、始まったばかりです。6年生がお互いに良さを感じ取り、切磋琢磨して伸びてほしいと思えます。

百聞は一見にしかず 鎌倉散策

J A落合支所を6時30分頃出発し、圏央道を利用して、9時15分過ぎには高徳院に到着しました。まずは、鎌倉の大仏の大きさに驚きました。その後は、班ごとの鎌倉散策です。地図を頼りに、銭洗い弁天、長谷寺、若宮大路・段葛、鶴岡八幡宮、切通し、寿福寺などへ4班に分かれて見分を広げてきました。目で見て考え、行動するこの散策は、子どもたちを歴史の世界に誘い、目で、肌で古都鎌倉の雰囲気を感じることができた体験でした。



教育を語る会「ほっとネットセミナー」から

6月15日に教育を語る会が開催されました。山梨県教育庁生涯学習課から講師の先生をお招きし、「ほっとネットセミナー」“今こそ考えよう、スマホやゲーム機の使い方”と題して、ご講演をいただきました。

講演内容をかいつまんでまとめると、

- 1 どうして、ゲーム依存になってしまうのだろう。
 - (1) オンラインゲームには、抜け出せなくなる仕組みがあります。
 - (2) ゲーム障害は世界保健機構が認定した『病気』です。次の項目に、二つ以上あてはまると注意が必要で、三つ以上あてはまると依存の可能性があります。
 - ネットに夢中になっていると感じる。
 - 予定よりも長く使用する。
 - 使用しないとイライラする、落ち着かない。
 - ネットのせいで人間関係を悪くしたことがある。
 - やりすぎをかくすため、家族にうそをついたことがある。
- 2 SNSを使うときに気をつけることを考えよう。
 - (1) SNS（メール、ライン等）でのやりとりでのトラブルの原因と対策を知ろう。
 - (2) インターネット上でやりとりする時には、次のことに気をつけよう。
 - ① 返信できないこともあるので気長に待つ。
 - ② 友だちと無理なルールは作らない。
 - ③ 相手の立場や気持ちを考える。
 - ④ 送ってよい内容かどうか考える。
 - ⑤ 個人情報には載せないようにする。
- 3 スマホやゲーム機を子どもに持たせるときの注意点
 - (1) 本当に今必要なのか家族でしっかり話し合う。
 - (2) 親子で一緒にルールを考える。
 - (3) あんしんフィルターやみまもりフィルターなどで利用に制限をかける。
- 4 児童のみんなへ
 - (1) 家族からサポート（ルール作り・見守り・フィルタリング）してもらって、自分を「コントロールする力」を身につけよう。
 - (2) リアルな体験とコミュニケーションで人間の根っこを育てよう。
※友達との遊び・自然体験・家族とのふれあい
- 5 保護者の皆様へ
 - (1) 18歳のゴールを目指して、どのタイミングで、どのくらいまで決定権を渡していくか。スマホやゲーム機は保護者が購入したもの
 - ・ 保護者のものを使わせてあげている。決定権は保護者。
 - ・ 毅然とした態度で対応→大切な教育
 - (2) 見ている、関心を持っていることを子どもに知らせる。
 - ・ 「知らなかった」「わからない」では済まさない。
 - (3) 子どもの使い方を注意するなら大人たちが手本に！



まとめ

スマホやゲーム機は、正しくこわがり、かしく使うことが大切。

スマホやゲーム機問題は、現代の子育ての課題を象徴しているように思います。

子どもが小さなときは、保護者がしっかりと見守り、やがて、成長に応じて、道徳心や判断力を身につけさせて、他律から自律できる人へと育てていく。子どもたちに「生きる力」をつけさせてあげるのは大人の務めです。